

令和7年度 音楽科 <第3学年> 年間指導計画と評価規準

音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

音楽科 第3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようになる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

第3学年年間指導計画（評価規準）

		★ 知は、知識・技能	思は、思考・判断・表現	主は、主体的に学習に取り組む態度	
月	題材名	指導内容	評価規準		
4 5 6 7 9	言葉を大切に、日本の歌を歌い継ごう。 各時代の日本の音楽 「校歌」「花」「荒城の月」「声明」「平曲」「長唄」	<p>「校歌」「花」「荒城の月」 各時代の日本の音楽 「声明」「平曲」「長唄」</p>	知	①各時代の日本の音楽や「花」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ②創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	授業観察 ワークシート 音楽のハーモニー 実技試験 (歌唱) 期末考査
			思	各時代の日本の音楽や「花」のリズム・テクスチュア・強弱・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもっている。	
			国	各時代の日本の音楽や「花」の歌詞が表す情景や心情、曲の背景や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞・歌唱の学習に取り組もうとしている。	
	音楽の特徴と背景との関わりを理解しながら聴き、情景や曲に込められた思いを考えながら鑑賞しよう。 (楽典の知識を用いた活動)	<p>「ブルタバ」(楽典)</p>	知	「ブルタバ」の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	授業観察 ワークシート 音楽のハーモニー 実技試験 (歌唱) 期末考査
			思	①「ブルタバ」の音色・リズム・旋律・テクスチュア・強弱を知覚し、働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、その関わりについて考えている。 ②知覚したことと感受したこととの関わりや、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、「ブルタバ」のよさや美しさを味わって聴いている。	
			国	「ブルタバ」の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりや、音楽の意味や役割について関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	
	全体の響きやパートの役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう。	文化発表会 課題曲 文化発表会 選択曲	知	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ②創意工夫を生かした表現で、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、発声や言葉の発音、体の使い方の他、他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。	授業観察 ワークシート 実技試験 (歌唱) 期末考査
			思	リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、聴うしたこ	

			とお感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表現するかについて思いや意図をもっている。	
10		国	混声三部合唱の全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
11	多彩な音色を味わいながら曲の特徴と他の芸術との関わりを理解し、その魅力を味わおう。	知	①「ボレロ」の音色・リズム・旋律・テクスチュア・強弱を知覚し、動きが生み出す特質や雰囲気を感受し、その関わりについて考えている。 ②曲の背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	授業観察 ワークシート 音楽のハーモニー 期末考査
12		思	「ボレロ」のリズム・旋律・テクスチュア・強弱・構成を知覚し、その曲の特質や雰囲気を感受しながら、曲に対する評価とその根拠や、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		国	曲想と音楽の構造とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	
	曲の構成を理解して器楽アンサンブルの表現を工夫しよう。 世界の諸民族の音楽を知り、その魅力を味わおう。	知	①創意工夫を生かした表現で演奏するために、必要な技能を身に付けている。 ②諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	授業観察 ワークシート 音楽のハーモニー 期末考査
		思	①音色、速度、旋律を知覚し、曲の特質や雰囲気を感受しながら、曲にふさわしい器楽表現について思いや意図をもっている。 ②音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	実技試験 (リコーダー)
		国	・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもって、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ・諸外国の様々な音楽の特性と音楽の多様性に関心をもち、楽しみながら主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。	
1	箏の音色に親しう。	知	・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、また全体の響きを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	授業観察 ワークシート 音楽のハーモニー 期末考査
		思	音色、リズム、速度、旋律、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。また、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	
		国	箏の特徴（楽器の構造や奏法、音色や響き、よさ）に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
2	様々なポピュラー音楽を聴いて、それぞれのよさを味わおう。	知	創意工夫を生かした表現で旋律を作るために、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせの技能を身に付ける。	授業観察 ワークシート 期末考査
		思	リズム、旋律、構成を知覚し、まとまりのある創作表現について思いや意図をもっている。	
		国	音階の特徴や音のつながり方の特徴に関心をもち、主体的に創作の学習に取り組もうとしている。	
3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。	知	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や各パートの声を聴きながら、他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	授業観察 期末考査
		思	音色、旋律、音の重なり、強弱を知覚し、曲の特質や雰囲気を感受しながら、曲にふさわしい歌唱表現について思いや意図をもっている。	
		国	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	

※実態や行事との兼ね合い等により、計画が変更になる場合があります。